㈱東京航業研究所、㈲文化財 COM

6．発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曽根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

（富士見市教育委員会）飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

（上福岡市教育委員会）長田弘毅、壱岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉（敬称略）

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

（1）縮尺は原則として

遺構配置図　1：300　　遺構平面図・遺物出土状況図　1：60、1：30　　炉などの詳細図　1：30

土器実測図　1：4　　土器拓影図　1：3　　石器実測図　1：3、2：3　　銭　1：1

（2）遺構断面図の水糸高は海抜高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海抜高に同じ。

（3）遺構図における screen－tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　　地山（ローム）　　焼土

土器　●　　石器★　　黒曜石・チャート▲　　礫○

（4）土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文　　撚糸文

（5）土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第４表　2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第２地点	鶴ヶ岡５－196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14～	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第３地点	鶴ケ岡３丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第８地点	東久保１丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第９地点	東久保１－６－19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野２－27－２	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野２－25－７、８、９	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野２－26－16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野２－25－16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野２－25－１	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野４－９－２	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野４－９－２	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野１－５－８	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野４－８－７	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野４－10－１	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭１－13－４	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭１－13－19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭１－16－９、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭１－11－５	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭１－５－８	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭１－５－13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間１－10－８	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293－4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295－１	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346－１、２の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339－1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の２の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640－９	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第６地点	大井小田久保1207－５	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第８地点	大井１－６－７	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井１－３－16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井１丁目５番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢１－17－16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第４地点	大井字東台689－３	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第５地点	大井字西台911－51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648－４	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640－４	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661－６	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

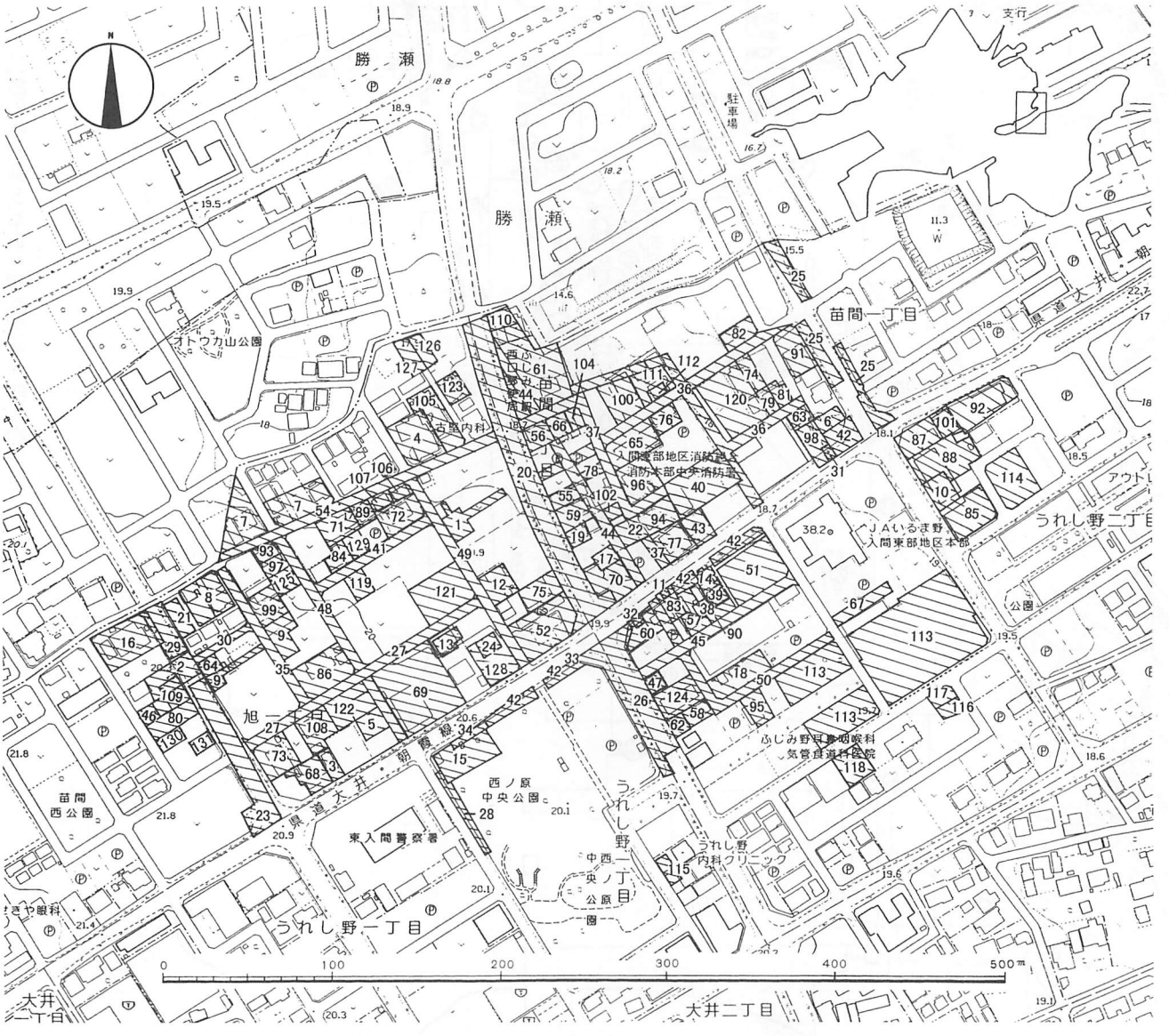
Ⅻ　西ノ原遺跡の調査

1　遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

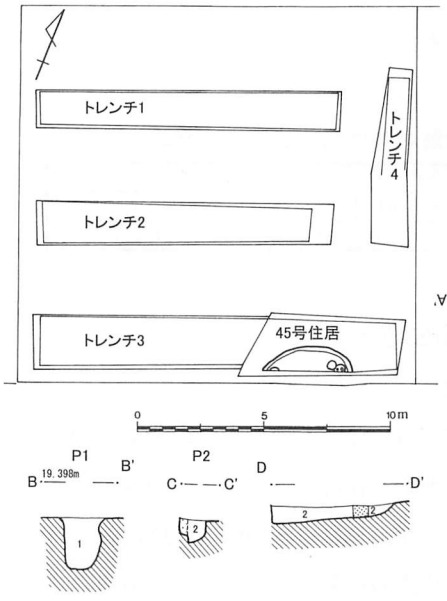
周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加により遺跡の破壊が進んでいる。と、同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40%が調査されてきている。1971年以来2005年3月現在で131地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、確認された遺構と遺物から旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を超す住居跡が環状集落として形成され、町内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

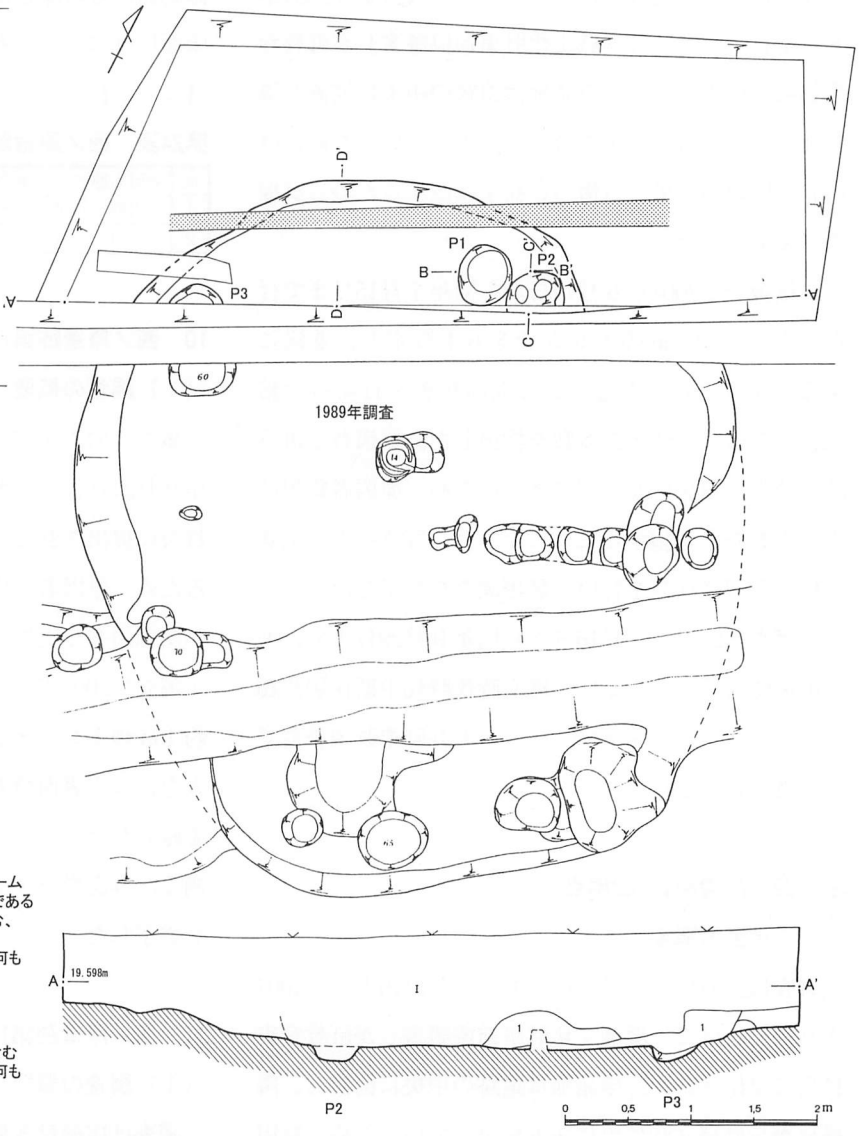


第40図　西ノ原遺跡の地形と調査区（1/4,000）

129地点



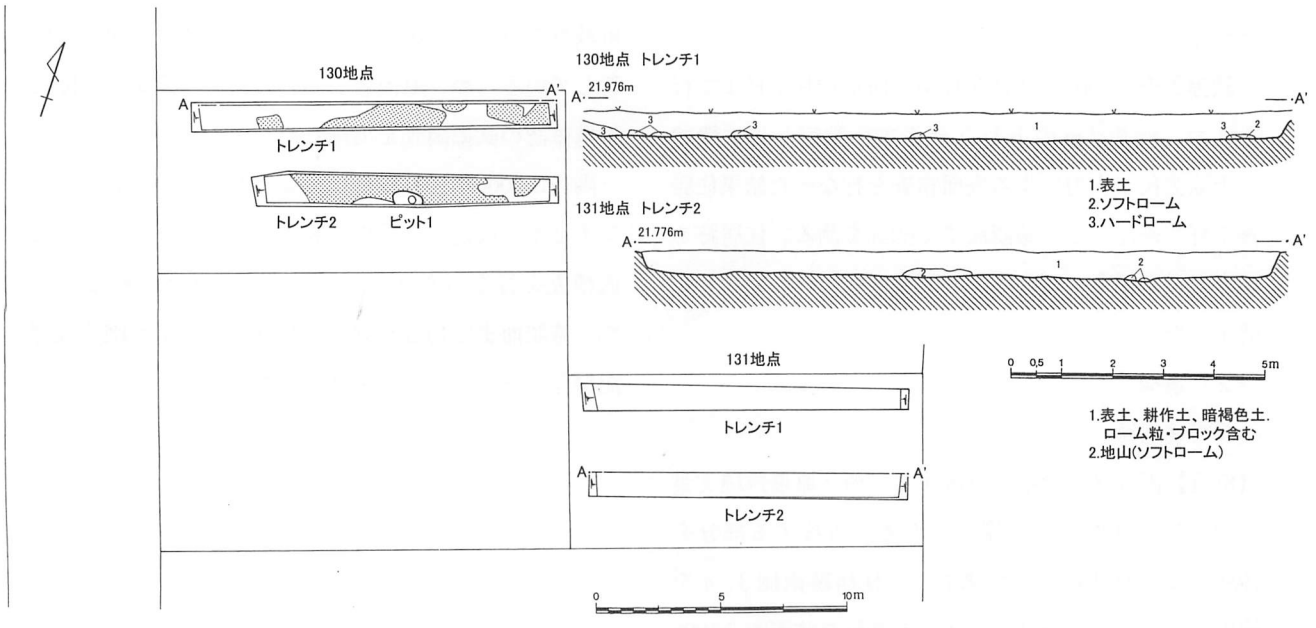
45号住居



45号住居
Ⅰ.表土　何層かに分かれるが、トレンチにみられる盛土ロームは無い。ゴボウの掘り込みと重なるため、ゴボウの覆土である
1.黒褐色土　締り強．粘性有．シミ状に暗褐色土を少し含む、炭化物(1mm大)をシミ状に少し含む
2.暗褐色土　締り強．粘性有．ソフトロームより暗いだけで何も含まない。わずかにロームブロックを少し含む。
ピット覆土2層に同じ

ピット
1.黒褐色土　締り強．粘性有．ローム粒(2mm以下)を少し含む
2.暗褐色土　締り強．粘性有．ソフトロームより暗いだけで何も含まない。掘り方の覆土(貼床)か？

130・131地点



第59図　西ノ原遺跡第129・130・131地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、45号住居跡、ピット(1/60)

8 西ノ原遺跡第128地点

（1）調査の概要

調査は店舗の建設に伴うもので、原因者より2004年6月7日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し隣接地では縄文時代住居を数多く検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年6月14日から同年7月15日まで行なった。幅約2mのトレンチを6本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、縄文時代の住居跡多数を検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、試掘調査を終了した。

本調査は2004年7月16日から同年9月29日まで、大井町遺跡調査会が行ない、縄文時代時代中期住居跡16軒、土坑・ピットを検出した。（大井町遺跡調査会で報告書刊行予定）

9 西ノ原遺跡第129地点

（1）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2004年9月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置し、隣接地からは縄文時代の住居も検出しているため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年9月30日から同年10月7日まで行なった。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果住居跡1軒を確認した。確認面まで60cmを測る。住居跡を調査し写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない調査を終了した。

（2）遺構

①45号住居跡

【位置】調査区の南端に位置する。西ノ原遺跡縄文集落内では環状部分の北端にあたる。隣接する部分を1989年に第41地点として調査し、住居跡南側3/4を検出している。（「西ノ原遺跡」大井町遺跡調査会1996参照）

【形状】平面形態は楕円形を呈し、規模は5.6×5.3m。確認面からの深さは30cm。壁は緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦である。

【ピット】

第24表 西ノ原遺跡45号住居跡ピット一覧表 （単位cm）

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
1	円形	48 × 41	33 × 32	52	
2	不明	42 × (26)	14 × 13	23	

10 西ノ原遺跡第130地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年9月27日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年10月14日から翌15日まで行なった。幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、遺構らしき覆土を確認したが自然の窪みであった。確認面まで40cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

11 西ノ原遺跡第131地点

（1）調査の概要

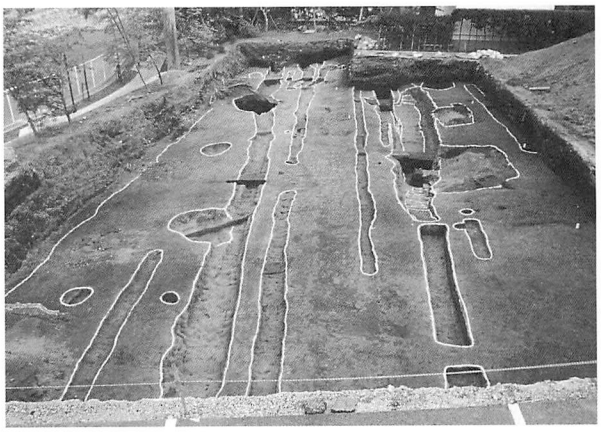
調査は店舗付き個人住宅建設に伴うもので、原因者より2004年10月19日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置しているため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2004年10月22日に行なった。幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで45cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない調査を終了した。

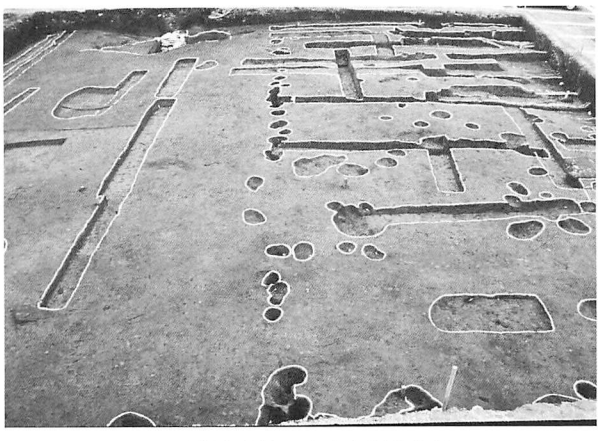
西ノ原遺跡第130地点試掘調査

西ノ原遺跡第131地点試掘調査

中沢前遺跡第20地点試掘調査



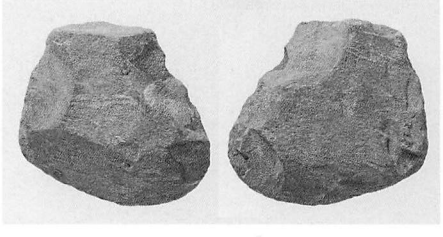
中沢前遺跡第20地点調査南側



中沢前遺跡第20地点本調査北側

中沢前遺跡第24地点試掘調査

中沢前遺跡第25地点試掘調査



中沢前遺跡第25地点出土石器